

## 第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	別海町
重点施策名	2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備

<b>1 目指す目標(長期目標)</b>
交流人口の増加と地域活性化に向け、多様化する観光・レクリエーションニーズに即した多面的な取組を一体的に推進し、観光・交流機能の拡充に努めるとともに関係機関と連携した広域観光体制づくりを推進する。

2 目標達成に必要な対象群の変化内容		
番号	変化や働きかけを行う対象群	必要な変化(維持する内容)
1	観光協会	観光情報の発信や道外でのPR活動により町の知名度向上を図る。
2	観光開発公社	当町最大の観光地である野付半島・尾岱沼における観光客集客を図るため、ネイチャーツアーや各種体験学習の充実を図る。
3	観光資源(観光施設含む)	ラムサール登録湿地である野付半島・野付湾、風蓮湖をはじめとする貴重な自然環境に恵まれており、この地域資源を生かした観光・施設の有効活用や、町にある文化財を活用した「別海エコミュージアム構想」による観光資源、また、パイロットマラソンに代表されるスポーツイベント等やスポーツ合宿誘致によるスポーツツーリズム、さらに教育旅行誘致等による、様々な機会を活用した交流人口の増大を図る。
4	幹線道路	高規格道路の整備等による周遊観光ルートの実環境整備を図る。

3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)				
番号	実施する内容	実施主体	実施期間	実施による到達レベル
1	継続的な観光情報の発信及びPR活動の実施	観光協会	H27～	情報発信の継続・強化、観光客入込数の増加
2	観光拠点となるネイチャーセンターの活動強化及び施設等の充実	観光開発公社・町	H25～	ネイチャーセンターの利用者数の増加(H24)
3	野付半島散策路及び花馬車道整備	町	H25～	施設の維持(H24)
4	高規格道路・国道・道道の整備	国・道	H25～	高規格道路・国道及び道道の整備改修の完了
5	観光客誘致など交流人口増大に向けた各種イベント開催や資源整備	町、観光協会、観光開発公社、実行委員会	H25～	イベント等への観光客入込数の増加
6	観光客受入体制の強化のため、観光施設及び観光関連施設を整備	町、観光協会、観光開発公社、実行委員会	H25～	補修・改修が必要な観光施設及び設備の整備

## 第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	別海町
重 点 施 策 名	2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備

1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識		
内部環境 (市町及び 地域の関係 者の経営資 源)	強み	【強み】 ラムサール登録湿地である野付半島・野付湾、風蓮湖をはじめとする貴重な自然環境や雄大な農村景観があり、これらとともに牛乳・乳製品・ホッカイシマエビ・サケなどの特産品に恵まれている。
	弱み	【弱み】 宿泊滞在施設が少ないため、数多くの地域資源を有するも通過型観光客がほとんどを占めている。
外部環境 (市町を取り 巻く環境)	機会	【機会】 北海道横断自動車道及び高規格道路の早期整備により道東への集客数の拡大。
	脅威	【脅威】 エゾシカの生息数増加により、貴重な景勝地である道立自然公園内や鳥獣保護区域での森林被害や貴重な草花の食害が多発。

2 参考とする指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光入込客数 316,100人(H24年)</li> <li>●観光客宿泊客数 22,200人(H24年)</li> <li>●野付半島観光客者数 137,020人(H24年)※ネイチャーセンター入場者数及び花馬車利用者数含む</li> <li>●イベント入込人数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンボホタテ・ホッキ祭り 3,000人(H24年)</li> <li>・えびまつり 24,000人(H24年)</li> <li>・別海町マルシェ 1,000人(H24年)</li> <li>・西別川あきあじまつり 13,000人(H24年)</li> </ul> </li> <li>●地域高規格道路根室中標津道路=計画区間40kmのうち 供用区間7.1km(H26 年度末)</li> </ul>

3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容
<p>観光開発公社が実施する野付湾クルージング等へ補助 観光協会へは、別海町の知名度向上のため物産展事業に対する助成及びPR用観光リーフレット作成に伴う助成等を行っている 各イベント開催にあつては実行委員会等への補助等の支援を提供</p>